

いざ！桜ウォーク

4月14日(日)

暖かな春の陽気に包まれ、真田地域の桜も一気に咲き始めた4月中旬、さなだスポーツクラブによる「桜ウォーク」が開催されました。この事業は真田地域の景観を楽しみながら、ウォーキング、座禅、美味しい抹茶で心身ともにリフレッシュしようと企画されたもので、この日は20名の方が参加しました。真田地域外からの参加者も多く、地域住民から真田の歴史などをお聞きしたり、長谷寺で座禅や抹茶を楽しんだり満喫されていました。



市に電気自動車をご寄贈いただきました 3月30日(土)

株式会社伊藤商会様の設立120周年を記念して、電気自動車「日産サクラ」をご寄贈いただきました。市では、ゼロカーボンシティの実現に向けて取組を進めており、脱炭素の取組の1つとなる電気自動車のご寄贈は、市の施策の推進に大きな貢献をいただくものとなります。株式会社伊藤商会様には、感謝申し上げます。なお、ご寄贈いただいた車両は、庁用車および災害時の非常用電源として活用させていただきます。



武石公園のヒカゲツツジが咲き誇りました

地域住民のレクリエーションの場としてにぎわいを見せる武石公園は、ツツジの名所としても知られ、ヤマツツジやミツバツツジなどが咲き誇る時期には素晴らしい景観となります。その中でもひそかに咲いている「ヒカゲツツジ」は、関東以西の本州・四国・九州に分布し、この地域ではなかなか見ることができません。七ヶ自治会と愛好会の皆さんを中心に整備を行い、大切に守り続けています。



依田川の鯉のぼり

4月13日(土)～5月17日(金)

丸子橋付近の依田川に約100匹の鯉のぼりが飾られました。海戸自治会・上田市商工会・市が中心となり「鯉のぼりの如く地域から元気を発信しよう！」という思いから始まり、今年で34回目。令和6年能登半島地震の被災地を応援するため、「がんばろう！能登」と書かれた鯉のぼりも飾られ、依田川桜堤防(緑の道)に咲く桜と鯉のぼりを一緒に楽しむことができました。



上田長野地域水道事業広域化協議会を設立しました

～上田・長野間における水道事業広域化のさらなる検討に取り組んでまいります～

皆さまの水道料金により運営されている水道事業は、人口減少社会を迎え経営環境が厳しさを増す一方、大規模災害対策も大きな課題となっています。安全・安心な水道水を将来にわたり安定的に供給するため、上田市は長野市、千曲市、坂城町、長野県企業局と共に令和3年度から広域化の一つの手段として具体的な検討に取り組んできましたが、さらなる検討を進めるため、令和6年4月8日にこの5団体において任意協議会を設立しました。水道水の安定供給に向け、本協議会を中心に検討を進めてまいります。



上田長野地域水道事業広域化協議会

協議会での検討状況は、今後、広報うえだや市ホームページで皆さまへお知らせする予定です。

広域化に関する詳細は市ホームページから



広域化についてのご意見は電子申請で随時受け付けています



あかりちゃん (上下水道局イメージキャラクター)



人生100年時代を先取りした 健康シリーズ 健幸シリーズ

その8



吉澤 尚 地域医療政策室 地域医療政策総合調整参事 (独)国立病院機構 信州上田医療センター 名誉院長

地域医療政策室 75・5463

B型肝炎ウイルスによる肝障害 脂肪肝、C型肝炎、アルコールによる肝障害に次いで多い肝臓病に、B型肝炎ウイルスによる肝障害があります。B型肝炎には、①ウイルス感染のあるお母さんからの出産時あるいは小さい頃に感染し、感染が継続する「持続感染」と、②成人してから感染する「急性感染」の2つの場合があります。 B型肝炎ウイルスの感染 B型肝炎は、血液などの体液から感染するため、十分な対策のないピアスや入れ墨、覚せい剤の注射器まわし打ち、性行為などでも感染します。急性肝炎の多くは、わずかにウイルスは残るものの治りますが、時に激しい肝炎(劇症肝炎)を起こして死亡することやまれに持続感染することもあります。医療従事者や救急隊、福祉施設、パートナーが持続感染の方などの希望者にはワクチン接種が実施されています。

定期的な検査や診察を 近年、B型肝炎ウイルスを劇的に減らす飲み薬により、病気の進行が抑えられるようになりました。また、落ち着いていて飲む必要のない方も多いのですが、病気の進行や肝がんの発症を早期に発見するため定期的な診察は必要です。 感染しているか不安な方はまず検査を受けましょう。また、検査で陽性でも医療機関に受診していない方は、かかりつけ医へ相談し、症状がなく肝機能が正常であっても、一度専門医に紹介してもらいましょう。

